

令和3年度 東蒲中学校グループ

特別支援教室（サポートルーム）

# 要 覧

特別支援教室  
（サポートルーム）

全ての公立中学校に特別支援教室を設置し、教員が巡回指導



## 特別支援教室（サポートルーム）

大田区立 東蒲中学校（拠点校）

《巡回校》

大田区立 大森第一中学校

大田区立 羽田中学校

大田区立 南六郷中学校

大田区立 六郷中学校

大田区立 出雲中学校

大田区立 糞谷中学校

大田区立東蒲中学校

〒144-0031

東京都大田区東蒲田2丁目38番1号

電話 03(3732)9321

FAX 03(3732)9322

電話 03(3732)1833（月・水のみ教室直通）

## 1 利用生徒数

(令和3年5月1日現在)

学校名	東蒲中	大森一中	羽田中	糺谷中	出雲中	六郷中	南六郷中	合計
合計	14	10	6	5	11	6	14	66

## 2 入室対象生徒

通常の学級に在籍する知的障がいのない発達障がい又は情緒障がいであり、通常の学級での学習におおむね参加でき、「一部特別な指導を必要とする程度の生徒」が対象である。

(平成18年3月31日付17文科初第1178号)

※ なお、指導の対象とするか否かの判断に当たっては、医学的な診断の有無のみにとられることのないように留意し、総合的な見地から判断することが必要です。

(障がいに応じた通級による指導の手引き 改訂第3版)

※ 不登校の状態にある生徒は、一般的に通常の学級の授業に出席していない状況にあることから、原則通室による指導の対象となりません。

<「一部の特別な指導を必要とする程度」の例>

- ・ コミュニケーションがうまく図れない
- ・ 相手の立場になって考えることが難しい
- ・ 注意を集中し続けることが難しい
- ・ 授業中、勝手に席を離れてしまう
- ・ 質問が終わらないうちに答えてしまう
- ・ 他の人がしていることを邪魔してしまう
- ・ 聞く、話す、読む、書く、計算する、推論することのうち、どれかひとつでも著しい困難がある
- ・ 状況に合わない感情や気分が持続し、不適切な行動が引き起こされ、自分の意思ではコントロールできない etc

## 3 教育計画

### (1) 教室設置の目的

日常生活における生徒の学習上・生活上の困難さの改善により、より多くの時間、在籍学級で他の生徒とともに学校生活を送れるようにする。

### (2) 指導形態 ー自校通室ー

① 通常の学級における授業を受ける中で、サポートルームへ通室する時間を決め通室する。

※ 行事や行事準備等と通室時間が重なった場合は、通常学級での活動が優先されます。

② 生徒の状況に応じて、個別指導、小集団指導を行う。

### (3) 指導目標

生徒が主体的に取り組める内容を考え、生徒が在籍する学級でよりよい学校生活を送ることができる力を養う。

## 4 指導内容

### (1) 自立活動

#### ① SST（ソーシャルスキルトレーニング）

- ・ 社会生活、日常生活を送るのに必要な基礎となる能力（身辺自立、聞くこと、話すこと、時間の管理、マナー、身だしなみ、整理整頓など）を身に付ける。
- ・ 社会生活、日常生活に必要なコミュニケーション能力を身に付ける。
- ・ 人と関わる時のルールとマナーを身に付ける。
- ・ 人と関わることの楽しさを味わう。

#### ② 自己理解

- ・ 自分自身について知る。（得意・不得意、長所・短所、性格、行動、目標、夢など）
- ・ 進路などについて自己決定できる能力を身に付ける。

#### ③ 作業活動（創作活動など）

- ・ 手先の巧緻性、集中力を高める。
- ・ 見通しを持って課題に取り組む力をつける。
- ・ 作品を完成させることで成就感、達成感を味わう。

#### ④ 運動学習

- ・ 基礎的な運動感覚を身に付ける。
- ・ 健康な生活を送ることの大切さを学ぶ。
- ・ 人と関わりながら活動することの楽しさを味わう。

#### ⑤ 感覚学習

- ・ 視覚などの感覚能力を高める。
- ・ 五感を使って活動する楽しさを味わう。

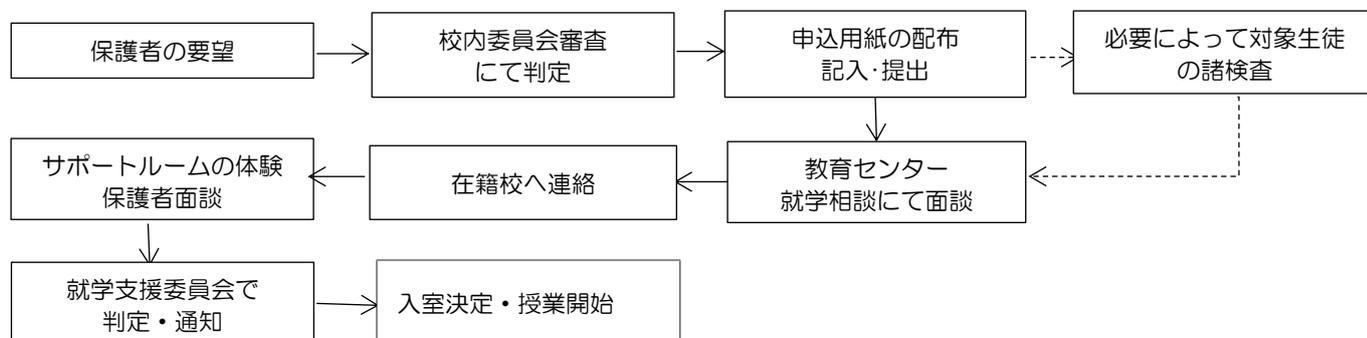
### (2) 各教科の内容を扱った指導

- ・ 生徒の特性に応じた学習方法を身に付ける。

### (3) 指導時間

- ・ 一人あたり週1～2時間程度（生徒の状況に応じて調整）

## 5 利用に関する流れ



※利用に関する詳細は各校へご相談ください。